

恵まれたサッカー環境

第4代会長 田部井 徹

現在 70 歳の私が今でもサッカーを続けている状態を、昔は想像すらできませんでした。埼玉県のパナソニックに住んでいた小学4年の時にサッカーと出会い、その後中学、高校、大学、社会人と休むことなくプレーを続け、サッカー歴は今年で60年になります。30歳に近づいた頃、まさか40歳を過ぎてもサッカーができるとは思っていませんでしたが、先輩たちのご尽力により神奈川県に四十雀リーグが誕生し、おかげで好きなサッカーが続けられるようになりました。その後シニアリーグは、五十雀、六十雀、七十雀リーグへと発展し、70歳を過ぎた現在でも、仲間とサッカーができる幸せを肌で感じています。

その基本は身体が健康であることですが、それと同時に歴史ある湘南ペガサスサッカークラブに在籍しているからこそできることであり、感謝に堪えません。40代から70代まで年代別にチームを有し、生涯にわたってサッカーが続けられる単独クラブチームは、全国的に見てもそうはありません。したがって、所属チームで試合を楽しむことはもちろんですが、合わせてチーム上下の絆もできるだけ太いものにしていくことが、クラブとして大変重要であると考えています。そのような観点から、毎年実施している「ペガサス祭」のようなクラブの全体行事には、できるだけ多くの会員に参加してもらいたいと願っています。「湘南ペガサス40」に入会したら、いつの間にか「湘南ペガサス70」でプレーしていたというのがごく自然な流れであり、そのようなクラブ運営ができるのが理想と思っています。

全員参加を考えると試合数の確保が必要ですが、60歳を超えるとGリーグのような県外大会にも積極的に参加していますので、是非皆さんにも参加していただきたいと思っています。健康でありさえすれば、いくつになっても仲間とボールが蹴れる環境が整っていることは、サッカー大好き人間にとって、この上ない喜びであります。